

発行:余市協会病院  
発行日:平成30年5月1日  
発行人:吉田 秀明  
編集人:広報委員会  
お問い合わせ:0135-23-3126



# ☆内科医師着任のお知らせ☆



## 内科医師 金子 望 (消化器内科)

こんにちは。2018年4月から勤務させていただいています、金子望と申します。静岡県出身で、関西で学生時代を過ごし研修をした後、名古屋で消化器内科医として働いていました。内科一般、地域医療、プライマリケアを学び、診療範囲を広くしていこうと考え余市協会病院にお世話になることにしました。どんなことも患者さんと一緒に悩んで解決していけるように丁寧に向き合っていこうと思っています。

年に1、2回しか雪の降らないところではか住んだことがなく、3月にも雪が残っている北海道に驚きつつ、冬本番が心配です。



お願いいたします。

# 新入職員

新卒を含む16名の新入職員が加わりました。どうぞよろしく

ホームページがリニューアル!

<https://ssl.hokushakyo.jp/yoichi-hospital/>

どちらもフォローお願いします!

facebook

研修医リレーコラム 100

# 「水虫とは？」

3月に研修させていただきました、NTT 東日本札幌病院 研修医の小松彩友香と申します。今回は水虫についてです。

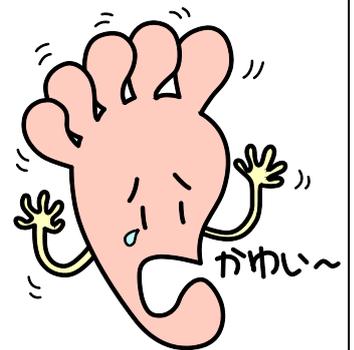
## 水虫とは？

白癬菌(はくせんきん)というカビの一種が皮膚に感染し炎症を起こした状態です。共用のバスマットやスリッパ等で感染することが多く、性別や年齢に関係なく発症します。

## 症状は？

水虫と聞くと「足のゆびの間がジクジク」して「痒い」といった印象が強いと思いますが、実際に痒みを伴うのはおよそ半数です。また、白癬菌は足のゆびの間から足の裏や爪、股、体幹、頭皮にまで感染が広がることもあります。

足の裏に白癬菌が感染すると、とても分厚くガサガサになったり、小水疱ができては破れるということを繰り返したりします。爪に白癬菌が感染すると、爪が白く濁り、もろくなるという特徴があります。このように、感染する部位によって同じ白癬菌でも症状は異なります。

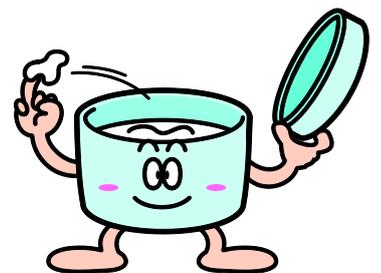


## 診断は？

皮膚や爪の一部をとって顕微鏡で検査をします。

## 治療法は？

抗真菌薬というカビに対する薬を使います。軟膏やクリームタイプの塗り薬が一般的ですが、爪に対しては液体の薬もあります。また、塗り薬が合わない、使えない場合は飲み薬もありますが、副作用が出現する可能性もあり主治医と相談が必要です。



## 予防法は？

足を清潔に、乾燥した状態を保つ、バスマットやスリッパの共用を避ける、靴下を履く等が挙げられます。

## -たかが水虫、されど水虫-

水虫によってできた小さな傷をきっかけに細菌が感染、治療に難渋することもあります。特に糖尿病の方は注意が必要です。糖尿病の方は感染症に罹りやすく、また足の神経が障害されている場合が多いため、増悪した後にやっと異常に気づく場合もあります。

水虫をうつす側にもうつされる側にもならないよう心がけてみましょう。

NTT 東日本札幌病院 研修医 小松彩友香



# 救急件数 (3月)

外来受診205件 うち入院43件  
救急車来院67件 うち入院34件